

卒業に要する単位

〔心理学科〕

区 分		最低必要 単位数	合 計	
教養科目		20単位	40単位	
外国語科目	<ul style="list-style-type: none"> ● 英・独・仏・中・韓・日より1か国語を選択し、 8単位を必修とする。(日本語は留学生のみ) ● 上記外国語として選択しなかった外国語から 1か国語を選択し、4単位を必修とする。 	12単位		
教養科目及び外国語科目の中から		8単位		
専門教育科目	必修科目	演習Ⅰ (2単位) 演習Ⅱ (2単位) 演習Ⅲ (2単位) 演習Ⅳ (2単位) 卒業論文 (6単位)	14単位	84単位
	選択科目	選択科目 (他学科及び他学部科目を 含むことができる。)	70単位	
合 計			124単位	

《注》

- 1 英語については、スピークン・インタラクション1～6の8単位迄を含むことができる。また英語インテンシブは第1外国語または第2外国語において1ヶ国語として数えることができる。
- 2 英語8単位、スピークン・インタラクション1～6までの4単位で外国語科目12単位として認定できる。
- 3 中国語・韓国語インテンシブは、それぞれ中国語・韓国語の単位とすることができる。
- 4 中国語インテンシブと中国語、韓国語インテンシブと韓国語の組み合わせでは、外国語科目の卒業単位を満たしたことはならない。
- 5 1年次では、2か国語迄の履修とする。(スピークン・インタラクションは、1か国語として数えない。)
- 6 健康・スポーツ関連科目およびスポーツは、教養科目の卒業単位として5単位迄を含むことができる。
- 7 演習Ⅰ～Ⅳについては、複数の担当者を履修することができ、必修科目に必要な単位数を超えた場合は、選択科目の単位として振り替える。

卒業に要する単位

〔情報社会学科〕 -2021年度以前入学生-

区 分		最低必要 単位数	合 計	
教養科目		20単位	40単位	
外国語科目	<ul style="list-style-type: none"> ● 英・独・仏・中・韓・日より1か国語を選択し、8単位を必修とする。(日本語は留学生のみ) ● 上記外国語として選択しなかった外国語から1か国語を選択し、4単位を必修とする。 	12単位		
教養科目及び外国語科目の中から		8単位		
専門教育科目	演習科目	演習Ⅰ (2単位) 演習Ⅱ (2単位) 演習Ⅲ (2単位) 演習Ⅳ (2単位)	8単位	84単位
	基礎科目		10単位	
	実習・演習科目		6単位	
	応用科目		20単位	
	卒業論文		6単位	
	専門教育科目全体から (他学科及び他学部科目を含むことができる。)		34単位	
合 計		124単位		

《注》

- 1 英語については、スピークン・インタラクション1～6の8単位迄を含むことができる。また英語インテンシブは第1外国語または第2外国語において1ヶ国語として数えることができる。
- 2 英語8単位、スピークン・インタラクション1～6までの4単位で外国語科目12単位として認定できる。
- 3 中国語・韓国語インテンシブは、それぞれ中国語・韓国語の単位とすることができる。
- 4 中国語インテンシブと中国語、韓国語インテンシブと韓国語の組み合わせでは、外国語科目の卒業単位を満たしたことはならない。
- 5 1年次では、2か国語迄の履修とする。(スピークン・インタラクションは、1か国語として数えない。)
- 6 健康・スポーツ関連科目およびスポーツは、教養科目の卒業単位として5単位迄を含むことができる。
- 7 演習Ⅰ～Ⅳについては、複数の担当者を履修することができ、必修科目に必要な単位数を超えた場合は、選択科目の単位として振り替える。
- 8 演習科目、基礎科目、実習・演習科目、応用科目については、最低必要単位数を超えて修得した単位は、専門教育科目全体から取得すべき34単位の中に含むことができる。

卒業に要する単位

〔情報社会学科〕 -2022年度以降入学生-

区 分		最低必要 単位数	合 計	
教養科目		20単位	40単位	
外国語科目	<ul style="list-style-type: none"> ● 英・独・仏・中・韓・日より1か国語を選択し、4単位を必修とする。(日本語は留学生のみ) ● 上記外国語として選択しなかった外国語から1か国語を選択し、4単位を必修とする。 	8単位		
教養科目及び外国語科目の中から		12単位	84単位	
専門教育科目	演習科目	演習Ⅰ (2単位) 演習Ⅱ (2単位) 演習Ⅲ (2単位) 演習Ⅳ (2単位)		8単位
	基礎科目			10単位
	実習・演習科目			6単位
	応用科目			20単位
	卒業論文			6単位
専門教育科目全体から (他学科及び他学部科目を含むことができる。)		34単位		
合 計		124単位		

《注》

- 1 英語については、スピークン・インタラクション1～6の8単位迄を含むことができる。また英語インテンシブは第1外国語または第2外国語において1ヶ国語として数えることができる。
- 2 英語4単位、スピークン・インタラクション1～6までの4単位で外国語科目8単位として認定できる。
- 3 中国語・韓国語インテンシブは、それぞれ中国語・韓国語の単位とすることができる。
- 4 中国語インテンシブと中国語、韓国語インテンシブと韓国語の組み合わせでは、外国語科目の卒業単位を満たしたことはならない。
- 5 1年次では、2か国語迄の履修とする。(スピークン・インタラクションは、1か国語として数えない。)
- 6 健康・スポーツ関連科目およびスポーツは、教養科目の卒業単位として5単位迄を含むことができる。
- 7 演習Ⅰ～Ⅳについては、複数の担当者を履修することができ、必修科目に必要な単位数を超えた場合は、選択科目の単位として振り替える。
- 8 演習科目、基礎科目、実習・演習科目、応用科目については、最低必要単位数を超えて修得した単位は、専門教育科目全体から取得すべき34単位の中に含むことができる。

卒業に要する単位

〔国際文化学科英語コミュニケーション専攻〕

区 分		最低必要 単位数	合 計	
教養科目		20単位	32単位	
外国語科目	● 英語インテンシブ・独・仏・中・韓・日より1か 国語を選択し、4単位を必修とする。(日本語は 留学生のみ)	4単位		
教養科目及び外国語科目の中から		8単位		
基礎専門科目	【2016年度までの開講科目名】 コミュニカティブ・イングリッシュⅠ～Ⅳ(各4単位) 【2017年度以降の開講科目名】 英語リーディングⅠ～Ⅳ(4単位) 英語リスニングⅠ～Ⅳ(4単位) 英語ライティングⅠ～Ⅳ(4単位) 英語スピーキングⅠ～Ⅳ(4単位)	16単位	16単位	
専門教育科目	必修科目	英語基礎演習Ⅰ(2単位) 英語基礎演習Ⅱ(2単位) 基礎英文法Ⅰ(2単位) 基礎英文法Ⅱ(2単位) 演習Ⅰ(2単位) 演習Ⅱ(2単位) 演習Ⅲ(2単位) 演習Ⅳ(2単位) 卒業論文(6単位)	22単位	76単位
	選択必修科目		36単位	
	選択科目	選択必修科目、他専攻、他学科及び 他学部科目を含むことができる。	18単位	
合 計			124単位	

《注》

- 健康・スポーツ関連科目およびスポーツは、教養科目の卒業単位として5単位迄を含むことができる。
- 演習Ⅰ～Ⅳについては、複数の担当者を履修することができ、必修科目に必要な単位数を超えた場合は、所属する専攻の選択必修科目または選択科目の単位として振り替える。

卒業に要する単位

〔国際文化学科国際文化専攻〕 -2021年度以前入学生-

区 分		最低必要 単位数	合 計	
教養科目		20単位	40単位	
外国語科目	<ul style="list-style-type: none"> ● 英・独・仏・中・韓・日より1か国語を選択し、 8単位を必修とする。(日本語は留学生のみ) ● 上記外国語として選択しなかった外国語から 1か国語を選択し、4単位を必修とする。 	12単位		
教養科目及び外国語科目の中から		8単位		
専門教育科目	必修科目	国際文化基礎演習 (2単位) 異文化体験実習Ⅰ (2単位) 演習Ⅰ (2単位) 演習Ⅱ (2単位) 演習Ⅲ (2単位) 演習Ⅳ (2単位) 卒業論文 (6単位)	18単位	84 単位
	選択必修科目		30単位	
	選択科目	他学科及び他学部科目を含むことができる。	36単位	
合 計		124単位		

《注》

- 1 英語については、スピークン・インタラクション1～6の8単位迄を含むことができる。また英語インテンシブは第1外国語または第2外国語において1ヶ国語として数えることができる。
- 2 英語8単位、スピークン・インタラクション1～6までの4単位で外国語科目12単位として認定できる。
- 3 中国語・韓国語インテンシブは、それぞれ中国語・韓国語の単位とすることができる。
- 4 中国語インテンシブと中国語、韓国語インテンシブと韓国語の組み合わせでは、外国語科目の卒業単位を満たしたことはならない。
- 5 健康・スポーツ関連科目およびスポーツは、教養科目の卒業単位として5単位迄を含むことができる。
- 6 演習Ⅰ～Ⅳについては、複数の担当者を履修することができ、必修科目に必要な単位数を超えた場合は、所属するコースの選択必修科目または選択科目の単位として振り替える。

卒業に要する単位

〔国際文化学科国際文化専攻〕 -2022年度以降入学生-

区 分		最低必要 単位数	合 計	
教養科目		20単位	40単位	
外国語科目	<ul style="list-style-type: none"> ● 英・独・仏・中・韓・日より1か国語を選択し、 8単位を必修とする。(日本語は留学生のみ) ● 上記外国語として選択しなかった外国語から 1か国語を選択し、4単位を必修とする。 	12単位		
教養科目及び外国語科目の中から		8単位		
専門教育科目	必修科目	国際文化基礎演習Ⅰ (2単位) 国際文化基礎演習Ⅱ (2単位) 演習Ⅰ (2単位) 演習Ⅱ (2単位) 演習Ⅲ (2単位) 演習Ⅳ (2単位) 卒業論文 (6単位)	18単位	84 単位
	選択必修科目		30単位	
	選択科目	他学科及び他学部科目を含むことができる。	36単位	
合 計			124単位	

《注》

- 1 英語については、スピークン・インタラクション1～6の8単位迄を含むことができる。また英語インテンシブは第1外国語または第2外国語において1ヶ国語として数えることができる。
- 2 英語8単位、スピークン・インタラクション1～6までの4単位で外国語科目12単位として認定できる。
- 3 中国語・韓国語インテンシブは、それぞれ中国語・韓国語の単位とすることができる。
- 4 中国語インテンシブと中国語、韓国語インテンシブと韓国語の組み合わせでは、外国語科目の卒業単位を満たしたことはならない。
- 5 健康・スポーツ関連科目およびスポーツは、教養科目の卒業単位として5単位迄を含むことができる。
- 6 演習Ⅰ～Ⅳについては、複数の担当者を履修することができ、必修科目に必要な単位数を超えた場合は、所属するコースの選択必修科目または選択科目の単位として振り替える。

卒業に要する単位

〔社会福祉学科〕 -2021年度以前入学生-

区 分		最低必要 単位数	合 計
教養科目		12単位	32単位
外国語科目	<ul style="list-style-type: none"> ● 英・独・仏・中・韓・日より1か国語を選択し、8単位を必修とする。(日本語は留学生のみ) ● 上記外国語として選択しなかった外国語から1か国語を選択し、4単位を必修とする。 	12単位	
教養科目及び外国語科目の中から		8単位	
専門教育科目	必修科目	社会福祉学概論 (4単位) 演 習 I (2単位) 演 習 II (4単位) 卒 業 論 文 (4単位)	14単位
	福 祉 基 礎 科 目		6単位
	福 祉 方 法 科 目		8単位
	福 祉 分 野 科 目		12単位
	福 祉 演 習 ・ 実 習 科 目		8単位
	福 祉 関 連 科 目		4単位
	専門教育科目全体から (他学科及び他学部科目を含むことができる。)		40単位
合 計		124単位	

《注》

- 1 英語については、スピークン・インタラクション1～6の8単位迄を含むことができる。また英語インテンシブは第1外国語または第2外国語において1ヶ国語として数えることができる。
- 2 英語8単位、スピークン・インタラクション1～6までの4単位で外国語科目12単位として認定できる。
- 3 中国語・韓国語インテンシブは、それぞれ中国語・韓国語の単位とすることができる。
- 4 中国語インテンシブと中国語、韓国語インテンシブと韓国語の組み合わせでは、外国語科目の卒業単位を満たしたことはならない。
- 5 1年次では、2か国語迄の履修とする。(スピークン・インタラクションは、1か国語として数えない。)
- 6 健康・スポーツ関連科目およびスポーツは、教養科目の卒業単位として5単位迄を含むことができる。

卒業に要する単位

〔社会福祉学科〕 -2022年度以降入学生-

区 分		最低必要 単位数	合 計	
教養科目		12単位	32単位	
外国語科目	● 英・独・仏・中・韓・日より1か国語を選択し、 8単位を必修とする。(日本語は留学生のみ)	8単位		
教養科目及び外国語科目の中から		12単位		
専門教育科目	必修科目	社会福祉学概論 (4単位) 演習Ⅰ (2単位) 演習Ⅱ (4単位) 卒業論文 (4単位)	92単位	
		福祉基礎科目		6単位
		福祉方法科目		8単位
		福祉分野科目		12単位
		福祉演習・実習科目		8単位
		福祉関連科目		4単位
		専門教育科目全体から (他学科及び他学部科目を含むことができる。)		40単位
合 計		124単位		

《注》

- 1 英語については、スピークン・インタラクション1～6の8単位迄を含むことができる。また英語インテンシブは第1外国語または第2外国語において1ヶ国語として数えることができる。
- 2 英語4単位、スピークン・インタラクション1～6までの4単位で外国語科目8単位として認定できる。
- 3 中国語・韓国語インテンシブは、それぞれ中国語・韓国語の単位とすることができる。
- 4 中国語インテンシブと中国語、韓国語インテンシブと韓国語の組み合わせでは、外国語科目の卒業単位を満たしたことはならない。
- 5 1年次では、2か国語迄の履修とする。(スピークン・インタラクションは、1か国語として数えない。)
- 6 健康・スポーツ関連科目およびスポーツは、教養科目の卒業単位として5単位迄を含むことができる。

履修登録可能単位キャップ制

本学学部では、学習の質を確保するために履修登録できる上限単位数を学年ごとに設定しています（キャップ制）。資格課程科目を除き、履修上限単位数を超えての履修登録はできませんので、注意して下さい。

学年	1年次	2年次	3年次	4年次
制限単位	48単位	48単位	48単位	44単位

進級に要する単位

2年次から3年次へ進級するためには、2年次の終りにおいて、48単位を修得することが必要です。（参考として、修業年限に関する学則の条文を以下に記します）

久留米大学学則

（修業年限）

第28条 学生の修業年限は、4年とする。ただし、医学部医学科については6年とする。

（在学年限）

第42条 学生は、第2年次の終りまでに4年、通算8年を超えて在学することができない。

本学入学前に、大学、短大、高等専門学校および 専修学校に在学された人へ

本学学部での単位認定を希望する場合は、入学前の入学手続き時に申請が必要です。万が一、まだ申請がまだ済んでいない場合は早急に教務課へ申し出てください。

文学部「課題解決型教育」の開講科目

文学部においては、学生が主体的に学ぶアクティブ・ラーニングを活用した課題・問題を発見し、解決に導く PBL (Project Based Learning: プロジェクト型学習、Problem Based Learning: 課題解決型学習) などの授業科目を開講しています。

<4 学科共通：必修科目>

・教養科目

1 年次：「教養演習Ⅰ」「教養演習Ⅱ」

・専門教育科目

3 年次：「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」

4 年次：「演習Ⅲ」「演習Ⅳ」「卒業論文」

<心理学科>

2 年次：「心理基礎演習Ⅰ・Ⅱ」

3 年次：「心理インターンシップ」

4 年次：「心理実習」

<情報社会学科>

1 年次：「フィールドワーク基礎Ⅰ」（必修）、「フィールドワーク基礎Ⅱ」（必修）

2 年次：「情報社会実習演習Ⅰ・Ⅱ」（必修）、「コミュニケーション演習」（必修）

2 年次以上：「知識創造論」、「ほとめきプロジェクト実習演習」、「放送制作実習演習Ⅰ～Ⅳ」、「活字メディア実習演習Ⅰ～Ⅳ」、「創造技法」

3 年次：「卒業論文制作基礎Ⅰ」（必修）、「卒業論文制作基礎Ⅱ」（必修）、

「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」（必須）、「地理フィールドワーク」

「情報社会学特殊講義Ⅲ・Ⅳ」

<国際文化学科>

2 年次以上：「英語基礎演習Ⅰ・Ⅱ」（英語コミュニケーション専攻必修）、「国際文化基礎演習Ⅰ・Ⅱ（国際文化専攻必修）」、「異文化体験実習Ⅰ」（国際文化専攻は令和 3 年度以前入学生は必修、令和 4 年度以降入学生は選択必修・英語コミュニケーション専攻は選択必修）、「異文化体験実習Ⅱ」

<社会福祉学科>

☆2021 年度以降入学生

1 年次：「ソーシャルワーク演習Ⅰ」

2 年次：「ソーシャルワーク演習Ⅱ」、「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」

3 年次：「ソーシャルワーク演習Ⅲ」、「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」、「ソーシャルワーク実習Ⅱ」、「精神保健福祉援助演習Ⅰ」、「精神保健福祉援助実習指導Ⅰ」

4 年次：「精神保健福祉援助演習Ⅱ」、「精神保健福祉援助実習指導Ⅱ」、「精神保健福祉援助実習」

☆2020 年度以前入学生

1 年次：「社会福祉援助技術演習Ⅰ」

2 年次：「社会福祉援助技術演習Ⅱ」、「相談援助実習指導Ⅰ」

3 年次：「社会福祉援助技術演習Ⅲ」、「相談援助実習指導Ⅱ」、「相談援助実習」

「精神保健福祉援助演習Ⅰ」、「精神保健福祉援助実習指導Ⅰ」

4 年次：「精神保健福祉援助演習Ⅱ」、「精神保健福祉援助実習指導Ⅱ」、「精神保健福祉援助実習」